12月17日　定例役員会議事メモ

日時：令和4年（2022年）12月17日（土）

場所：岡津町内会館

参加者：事業部役員19名、地区長・班長25名の計44名参加

１　中川連合定例会報告　＜会長＞　（資料はホームページにアップ済みです）

・令和5年出初式　1月7日（土）１３：３０〜１４：３５

・民生委員、児童委員、主任児童委員の推薦結果　12月1日から岡津第二町内会の佐藤さんが承認されました。

・住民税非課税世帯と家計急変世帯を対象に横浜市から電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援給付金が支給されます。

・令和５・６年度の「明るい選挙推進協議会推進員」、「保健活動推進員」、「環境事業推進員」、「スポーツ推進委員」の推薦依頼が区からありました。

・オレオレ詐欺の被害がまた増えているので注意するようお願いします。

・三島神社の初詣の担当は今回は岡津第一町内会で、来年が岡津第二町内会になります。

・12月中川連合定例会、忘年会が12月24日（土曜日）17時から藍屋弥生台店で行われます。会費は2,000円。

２　各部からの報告について

・環境衛生部

　ご協力いただいているアルミ缶収集に伴うマコト紙業からの収入として、6月〜12月の６ヶ月間分で26,000円の入金が町内会にありました。

　年末年始の燃えるゴミ、プラゴミ、かんびんペット等の収集予定は各ゴミ捨て場に貼ってあります。（ホームページでも確認できます。）

　・青少年部

　　12月15日に対象となる子どもたちにクリスマスプレゼントを配布しました。

　　3月12日に6年生を送る会を開催予定です。

　・広報部

　　町内会内の私道で車が家のブロック塀の柵を損傷した事故がありました。警察はノータッチなので、注意喚起のための立て看板を町内会で検討するよう会員から要望がありました。現在、区の土木課とやりとりをしています。また、隣の家の樹木が敷地にかかっているなどの対応要望を受けて対処しています。

　・女性部

　　前回、規約の改定の際に女性部の名称変更の話があったが、連合からは連合の女性部としての依頼もあるので女性部の名称を存続させたい。

　・防災部

　　12月4日に安否確認訓練と心肺蘇生法・A E Dの訓練を行いました。安否確認訓練への各世帯の参加は全体の３２％と低く、これは回覧板を読んでいない世帯が多いからであろうと思われます。今後は参加者が増えるよう対策を考えます。心肺蘇生法とA E D訓練には30名が参加し、日赤の救急法指導員3名により行いました。

　　消火器の新規購入、廃棄の取次を行いました。今年は７件の取次を行いました。

　　賞味期限間近の保存用クラッカーと飲料水の入れ替えのため、無償配布を行い、新たに補充しました。

　　1月22日に予定されている岡津小学校地域防災拠点訓練の事前訓練が行われました。運営委員の選定の際には地域防災拠点との関連を考慮することが必要であるという意見がありました。

　・防犯部

　　11月の防犯パトロールには6名ほどの参加があったが、参加人数が少なくて苦労している。参加者も高齢化しているので、もっと多くの人に参加をお願いしたい。

　・福利厚生部

　　共同募金会への寄付を48,070円いただきました。ご協力ありがとうございます。（最終的には58,520円との報告が後にありました。）

　・総務部

　　規約の改訂に向けて修正を行なっている。年度末の総会に向けて案を提示する。

　　今後の町内会運営について、各世帯宛の手紙を配布し、支援をいただきたい。案を提示します。町内会運営は役員がやれば良いと言うものではなく、会員全員で支えなければ立ち行かない。他の町内会でも行なっていることであるが、班長さんによるくじ引きで事業部役員を決めることも考えなくてはいけない。

　　→ 班長は1年ごとに持ち回りで行なっており、それに事業部役員の役が付くのは受け入れられないのではないか。

　　→ 事業部役員は1年や2年で変わるのは難しい。４〜５年はやるということでやらないと難しいのではないか。

　　→ 何も知らない新しい人が役を引き継いでもすぐにできるようにしないといけないのではないか。そのためにも各部でやっている活動をマニュアル化する必要がある。

　　→ 各部とも常に部長と副部長をおいて時期をずらして変わっていくことが必要ではないか。

　　→ くじ引きで当たっても、普段働いている人間にとってはできないものはできないという人もいるであろう。

　　→ それはその通り。町内会の運営はボランティアなので強制はできず、できないものはできない。しかしながら、役員の成り手がいなくなると町内会の活動は立ち行かなくなり、ゴミ捨てについても各世帯が行政と直接やりとりしなければならなくなる時がきてしまう。

　　→ 来年度には具体的な対策を考え、令和６年度には策を講じないといけない。

　・広報活動は現在の部長、副部長が高齢であり、身体的にも活動を続けることが難しくなっている。今は地区長に配布し、そこから各班長に配布を依頼しているが、その梱包作業も容易ではない。

　・これまでは人の伝手を使って事業部役員の成り手を探してきたが、今後もそれは可能であろうか。

　　→ これまではそれでやってきたが、今後は難しいと感じる。何か新しい方法が必要であろう。

　・くじ引きで事業部役員を決めるのは難しいのではないか。ある程度の経験と年数が必要である。

　・事業部役員を探す良いアイディアがあればメールで送付願いたい。